



新庁舎建設 現場レポート⑥

新庁舎建設工事の着工から、1年余りが経過しました。今回は、現場レポート第6弾として、新庁舎の1階床の施工について報告します。

■ 1階床の施工

1階の床は、鉄骨鉄筋コンクリート構造の柱や梁（はり）と、鉄筋コンクリート構造の床スラブで構成されており、以下の手順で施工を行いました。

- ①鉄骨柱、梁の組み立て、設置
- ②鉄骨柱、梁を鉄筋で囲む
- ③コンクリートを流し込むための型枠の設置
- ④床面の鉄筋の設置
- ⑤梁、床面にコンクリートを打設

1階の柱や梁、床は、建物と免震装置をつなぐ重要な構造部分であり、慎重に作業を進めました。

■現在の施工状況

現在は、2～4階の鉄骨柱や梁の組立て作業を行っており、現場周辺からも工事の様子が見られるようになりました。

今後も2021年の開庁を目指し、着実に工事を進めていきます。

